



進めよう ともに
福祉の町づくり

福祉



なちかつうら

2023

3

社会福祉法人 那智勝浦町社会福祉協議会
〒649-5331 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字天満1418番地2 (那智勝浦町福祉健康センター内)
TEL:0735-52-5252/FAX:0735-52-3700/E-mail: nachikatsushakyo5252@train.ocn.ne.jp

令和4年度福祉健康まつり を開催しました!

3年ぶりの
開催!!



3月4日(土)、福祉健康センターで令和4年度福祉健康まつりを開催しました。新型コロナウイルス感染症のため、3年ぶりの開催となりましたが、引き続き基本的な感染予防対策を徹底し、作品展示を主とするなど形を変えての開催となりました。岡崎晴賀会長の開会の挨拶、ご来賓の堀順一郎町長のご挨拶の後、わかば保育園の園児によるダンスが会場を盛り上げてくれました。その後、役場・福祉課の「地域のお宝報告会」と題した地域の居場所づくり報告会が行われました。

屋内会場では社協の地域福祉活動の福祉体験学習やいきいきサロンの展示コーナー、社協を含む町内の社会福祉法人、高瀬会「湯ごりの郷」・いなほ作業所・わかば保育園の展示コーナー、南紀ひまわり作業所や牟婁保護司会那智勝浦分会のコーナー、里親支援センターほっとのコーナー、福祉用具の展示、スタンプラリーの車いす体験、高齢者疑似体験、豆つかみ、スカットボールのコーナーを設けました。そして、和歌山県社会福祉協議会で令和4年度の新たな取り組みとして、昨年8月から9月に「支え合い、笑顔あふれるみんなのふくし」をテーマに作品を募集し、誰もの身近にある「福祉」「地域福祉」を啓発し、福祉への理解をすすめるとともに、「福祉職場」の素晴らしさや福祉のイメージUPを目的として行われた「ふくしフォトコンテスト」の入賞作品の展示コーナーも設けました。

また、屋外会場ではいなほ作業所のパンとタイダイ染め商品の販売、南紀ひまわり作業所の洋菓子販売、役場・防災対策室の防災コーナー、スタンプラリーのストラックアウト、わなげのコーナーを設け、たくさんの方に参加していただきました。コロナ禍の中で地域の活動に励んできた各地区の福祉委員、福祉団体関係者の皆様に、開催にあたりご協力いただき、誠にありがとうございました。

Photo Gallery



3年ぶりの
開催!

福祉健康まつり フォトギャラリー



わかば保育園の園児の皆さんの
かわいらしい姿に会場は大盛り上がり!

福祉課による「地域のお宝報告会」では、たくさんの方が真剣に耳を傾けられていました。



町内の居場所「いきいきサロン」や、「通いの場」の様子を展示しました。



町内の小中学校で行った福祉体験学習の様子を展示しました。



社会福祉法人、南紀ひまわり作業所の展示の様子。



ふくしフォトコンテスト入賞作品にも皆さん関心を寄せられていました。

販売コーナー

いなほ作業所のパン等販売、南紀ひまわり作業所の洋菓子販売、バザーも大盛況でした!



防災コーナー



牟婁保護司会
那智勝浦分会



福祉用具展示



里親支援センター
ほっと



ふ だんの く らしの し あわせをつくる 学び

福祉体験学習

那智中学校編

12月19日、那智中学校にて那智勝浦町社協と高瀬会・湯ごりの郷の介護職員が、1年生50名を対象に、車いす体験と視覚障がい者疑似体験といった福祉体験学習を行いました。今回の体験の目的は、様々な人の立場を知り、思いやりや助け合う心などを育成するとともに、地域社会の一員としての自覚を高めることです。生徒からは、「相手を思いやる気持ちや、相手を信頼することが大切だと思った」「ついてくれる人を信用していないと怖いと思った。声掛けして安心してもらうことが大切だと思った」「白杖体験では、ガイドつきでも怖くて不安だったけど1人ではもっと怖くて、知らない場所だと更に不安になるので、介助してくれる人がいると安心できた。もし目や手足が不自由な人を見つけたら、声をかけて一緒に手伝いたい。」「視覚障がい者をサポートする人が間違っただけで、車イス介助をする人が間違っただけで行動をしようとする、命に関わってくると思った。このような事を普段からこなしている介護士さん達はすごいと思った」などの感想が聞かれました。今回の体験を通して、体の不自由な人も安心して暮らせる地域づくりのため、自分に何が出来るかということを考えてもらえれば嬉しいと思います。



色川小学校編

2月20日、色川小学校3年生2名、4年生6名を対象に、車いす体験と高齢者疑似体験を行いました。今回の体験の目的は、高齢・身体不自由疑似体験を通して、高齢者の生活や気持ちを理解し、自分たちにできる事について考え、思いやりや助け合いの心を育てることで、色川小学校では、本やインターネットを活用して事前学習を行い、今回の体験に臨みました。体験後に感想を発表してもらい、体験を通じてどんなことが不便で、どうしたら不便でなくなるか、これから自分達にできることはどんなことか、みんなで話し合ってもらいました。今回の体験を通して、福祉への理解と関心を深めることと、生命を大切に、他人を思いやる心や優しさ、相手の立場になって考えたり、共感することのできる温かい心を育ててもらいたいと思います。

◎福祉体験学習を通して、子供たちがどのような感想を持ったのかを紹介していきます。 「おじいちゃん、おばあちゃんの気持ちが分かったので、もっとやさしくしてあげたい」「車椅子をおす時は、ゆっくり進まないといけないこと、だんさがあれば声をかけてあげることが大切だとわかった」「お年よりの人に会ったら、元気になるような声をかけてあげたい」など、子供たちはそれぞれ大切な気づきを得たようです。



実際に福祉の現場で働くスタッフが講師となって伺います。



那智勝浦町社会福祉協議会では、福祉に触れる機会を持つことで福祉を身近に感じてもらい、思いやりの心や助け合いの心の大切さををばぐむことを目的として福祉体験学習を行っています。福祉体験学習をご希望の学校、または地域のグループの方は、那智勝浦町社会福祉協議会 ☎52-5252までご連絡ください。

いきいきサロンの様子



● 口色川区 ●

12月25日、口色川区のいきいきサロンは、毎月行っている塗り絵やまちがい探しをした後にクリスマスということでクリスマスプレゼントを手渡し、参加者の作ってきた「里芋のポタージュ」と地元『樹海』のお弁当をみんなで美味しくいただきました。口色川区は子供や若い方が参加しているサロンで、幅広い年齢層の方が毎月集まり、話をしたり、お茶をするなど、和気あいあいと楽しい時間を過ごしています。これからも一人暮らしの高齢の方を誘ったり、若い方にも声掛けして色々な方が集まる場にしていきたいと思います。



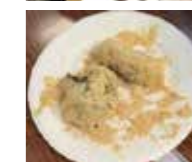
● 小阪区・南平野区合同 ●

2月13日、小阪区と南平野区は、2地区合同でいきいきサロンを開催しました。この日は、新宮警察署の特殊詐欺被害防止アドバイザーによる講話と「筋肉」詐欺被害防止体操の動画を見ながら腕立て伏せやスクワットなどの体操をした後、パターゴルフゲームをしたり、皆でおしゃべりをして過ごしました。参加者は、特殊詐欺被害に遭わないために気をつけることや自身の体力を維持・向上するための意識について改めて考えるきっかけになったと話されていました。



● 中ノ川区 ●

2月22日、中ノ川区いきいきサロンでは、毎月行っている塗り絵、パズルで脳トレのプリントで頭の体操をした後、芋餅づくりをしました。プリントの計算問題やパズル言葉などの問題は解くのに時間がかかるものもありましたが、芋餅づくりはみんなが楽しくできて、完成した芋餅も美味しそうだとみんな喜んでいました。最後に手を使って餅をにぎったり、食べることはみんなを笑顔にするので良いことだねと話されていました。



いきいきサロンは、地域を拠点に歩いて行ける所にある会館等に気軽に集まり、おしゃべりしたり、ゲームや健康体操等をして楽しい時間を過ごすことで仲間づくりや健康づくりを行う交流活動で、現在町内20カ所で開催されています。興味のある方は、那智勝浦町社会福祉協議会までお問い合わせください。

居宅介護支援事業所

- 〈ケアマネの役割〉
- ・要介護認定の申請代行
 - ・ケアプランの作成
 - ・介護サービス事業所との連絡調整
 - ・介護に関わる各種手続き など



介護に関することお気軽にご相談下さい！
Tel.0735-52-9111

訪問介護事業所

介護についてお困りの方はぜひご相談ください。ホームヘルパーがお手伝いをさせていただきます。例えば、入浴・排泄・服薬衣類の着脱などの介助掃除・洗濯・調理・買い物



ホームヘルパーも募集しております。詳しくは那智勝浦町社会福祉協議会 Tel.0735-52-5252までご連絡ください。